

Press Release(2019/7/25)

日本物理学会 2019 市民科学講演会 「太陽系の起源を探る—はやぶさ2の挑戦—」 を岐阜で開催します！

本講演会は、物理学を通じた社会と教育への連携活動として日本物理学会が行う一般市民向けの講演会であり、広く市民・青少年に科学に対する理解と興味を広げることを目的としています。今回の講演会は日本物理学会 2019 年秋季大会[物性]、(9月10日～13日、岐阜大学)とあわせて開催されます。

今回の講師として、講演、執筆、メディア出演など天文普及活動でも幅広く活躍される国立天文台・副台長の渡部潤一先生、また先日も2回目のタッチダウン・小惑星内部の物質採取に成功したばかりの「はやぶさ2」のプロジェクトマネージャーとして現場の最前線に立つJAXAの津田雄一先生をお招きし、これまでのはやぶさ2の最新の成果について、この岐阜の地で直接伺うことができる大変貴重な機会です。今回が初となるお二人の対談「太陽系探査の未来」も特別に企画しております。

つきましては、貴社の情報コーナー等でのご紹介、事前取材についてよろしくお願いたします(可能であれば申し込み締め切り前の8月9日以前だと大変ありがたく存じます)。

記

日 時：2019年9月15日(日) 14:00～16:30

会 場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター) ホール

講 師：渡部 潤一(国立天文台、副台長)

津田 雄一(宇宙航空研究開発機構(JAXA)、はやぶさ2 プロジェクトマネージャー)

主 催：一般社団法人 日本物理学会、国立大学法人 岐阜大学

後 援：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、

中日新聞社、岐阜新聞社・岐阜放送

定 員：550名(入場無料、往復はがきによる申し込み制、定員を超えた場合は抽選)

対 象：一般・高校生向け(未就学児の入場はご遠慮ください)

申し込み：往復ハガキにてご応募ください。8月9日(金)(消印有効)

応募方法等の詳細は下記WEBページをご覧ください。

■市民科学講演会 URL：<https://www1.gifu-u.ac.jp/~jps2019f/kouenkai/>



【本件に関する問い合わせ先】

日本物理学会 2019 年秋季大会 [物性] 実行委員会

青木 正人(岐阜大学工学部; 実行委員長)

電話番号：058-293-2428 FAX 番号：058-293-2415

MAIL : masato@gifu-u.ac.jp

○講師プロフィール

渡部 潤一 (国立天文台, 副台長)

福島県生まれ。東京大学大学院, 東京大学東京天文台を経て, 現在, 自然科学研究機構国立天文台副台長・教授, 総合研究大学院大学教授。理学博士。太陽系小天体 (彗星, 小惑星, 流星など) の観測的研究のかたわら, 「はやぶさ」「はやぶさ2」ではターゲットになる小惑星候補を地上観測で絞り込むなどの支援の他, 2010年の「はやぶさ」地球帰還の際には, 大気圏再突入現象の研究のため観測隊を編成し, オーストラリアで観測を行った。また, 講演, 執筆, メディア出演など天文普及活動でも幅広く活躍し, 国際天文学連合では, 星定義委員として準惑星という新しいカテゴリーを誕生させ, 冥王星をその座に据えた。専門分野は太陽系天文学, 惑星科学。



津田 雄一 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所, はやぶさ2 プロジェクトマネージャー)

2003年東京大学大学院修了。博士 (工学)。2003年JAXA 宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) 助教。2015年同准教授。「M-V ロケット」の開発, 小惑星探査機「はやぶさ」の運用に従事。また, ソーラーセイル宇宙船「イカロス」のサブチームリーダーとして, 世界初のソーラーセイル技術の実現へと導いた。小惑星探査機「はやぶさ2」の開発にあたっては, プロジェクトエンジニアとして技術開発を指揮。2015年より, はやぶさ2のプロジェクトマネージャー。専門分野は宇宙航行力学, 宇宙機システム, 太陽系探査。

